

## 私の収録落語

自分が落語に興味を持ち始めたのは、何時の頃であろうか？ 学生時代に、筑摩書房刊の「古典落語」全集を求めているので、その頃には、なんらかの関心があったものと思う。きっかけは思い出せない。就職後、何回か「東横落語会」に行った。少なくとも一回は、文楽、円生、小さん、他を観た記憶がある。この時代を共有出来た事は誠に幸せである。その後「生」の落語を聴いていない。その後の記憶は、結婚後に至る。昭和50年代か、レコードの落語集を買い求めた。これには志ん生、文楽ほか、最も若いのが馬生で7 or 8枚のレコードで成り、それぞれの代表噺が表裏各一話録音されていた。当時まだ個人で録音する機器は一般的でなく、また、落語への自分の熱も、一時それほどでもなかった気がする。

昭和50年代後半、いわゆるラジカセを手に入れる。但し、当時タイマーなど無く、ラジオ放送の録音もその場に居合わせないと出来ない。その頃10に満たない落語を録音した。また、例のレコードもテープにダビングし、カセットプレーヤーで楽しむようになった。ラジカセにイヤホンをつけ、落語を聴きながら寝る癖は、この頃始まった。

平成2年システムコンポを求めた。これにはタイマーが内蔵され留守録が出来る。90分テープで一度留守録し、所定長さのテープにダビングする方法が出来る様になった。90分テープは45分で反転する。ダビング途中で一瞬、無録音部が生じるのは仕方がない。この問題は後にDATを得ることで解決した。

私の好きな落語は、古典、しかも江戸物で、新作かつ上方落語はあまり好まない。落語家にも好みがあり、昭和期の人が中心、平成期で聴く気になるのは、志ん朝と枝雀のみである。

このような条件を満たす放送はあまり多くない。したがって収録落語も目に見えては増えなかった。

ところが、平成5年頃であろうか、NHK「ラジオ深夜便」の土曜日番組（実際には日曜日になっている）で、古典落語の放送が行われているのを知った。この番組は時には浪曲などになることもあるが、主として落語が放送され、しかもその内容が、上記自分の好みに合致したものが多い。アナウンサーは宇田川清江さんで（一時、代わったこともあったが）、これまた落語の情緒を引きだしてくれる。生放送なので放送時間がずれることもあるが、一方深夜なので時間制限が無く長い噺も放送する。この場合DATの長時間録音機能は威力を発揮する。但し、途中で臨時の台風情報などが入りダビング時、繋ぎあわせに苦労することもある。この番組により収録本数は増え始めた。

さらに、収録本数が増えるきっかけとなったのは、平成8年頃玉置宏の司会で、毎週月曜から木曜までの4日間、古典落語の放送が行われているのを知ったときからである。この放送は25分と短いため、長い噺の場合など複数日継続ということになるが、対象そのものが昭和期に活躍した人に限っているため、自分の好みに合う放送が多い。ダビング整理が忙しい程になった。こんな経緯を経つつ、私の収録落語は、今なお増えつつある。

カセット本数約100本までは、手書きの目次で対応してきたが、さすがに100本を越すと手書きでは管理しきれない。手書きの目次も捨て難いが、並べ換え機能など、さすがに文明の利器にはかなわない。パソコンを使用することにした。目次を手書きからパソコンに代えるにあたり、この駄文を添える事にした。この収録落語がいつ完了す

るのか、自分では予測が立たない。

立川志のすけの書いたもので「古典落語100席」という本がある。もちろん、各自それぞれの100席はあるのであるが、自分の只今の収録落語を上記「100席」と見比べると、収録分は半分にも満たないであろう。少なくとも一般に認められた「100席」は出来るだけ収録したいものと思っている。

話は少しそれるが、小泉信三亡きあと、同氏の息女二人が故人を偲ぶ本を出している。その中に同氏が志ん生の「大津江」を聴いて涙したという話が載っていた。長い間「大津江」とはどんな噺かと思い、例の古典全集を探してもそんな噺は無い。どんなものかといつも気になっていたのであるが、平成9年例の「深夜便」の正月番組でこの「大津江」が放送された。さすがにこの時は、収録・ダビングしおえた時気持ちが高ぶった。なつかしい思い出であり、自分にとっては記念の録音の一つである。

平成10年、私は久方ぶりアメリカに二度ほど仕事で出張した。この時「ウォークマン」と落語テープを約10本持参した。飛行機の中、あるいは、例によって寝る前落語を楽しんだ。集録落語の内、少なくとも何本かは洋行経験者である。

なお、この目次は次のような三部編成と成っている。

- ・カセット番号順
- ・落語家名順
- ・落語題名順（あいうえお順）

一人で、または複数人で、「上田亭落語会」の「プログラム」を作り、酒でも飲みながら落語を楽しむのも一興である。ただ、前座を努める人が居ず、取りを務める人ばかりで、「プログラム」作りには苦勞するであろう。

(平成10年10月記す)

#### 追記

八色石では、NHKのラジオ放送が受信できない。世界中に電波を発信しているのに、日本国内で受信できないとは！ 以降、落語の収録も頓挫している。

(平成19年7月記す)

## 収録落語目次（カセットNo.順）

No.	カセットNo.	噺家名	題名	読み
1	1	桂 文楽	素人鰻	しろうとうなぎ
2	1	桂 文楽	寝床	ねどこ
3	2	三遊亭金馬	藪入り	やぶいり
4	2	三遊亭金馬	孝行糖	こうこうとう
5	3	三遊亭円遊	野ざらし	のざらし
6	3	三遊亭円遊	味噌蔵	みそぐら
7	4	古今亭志ん朝	厩火事	うまやかじ
8	4	古今亭志ん朝	船徳	ふなとく
9	5	古今亭志ん生	福田祭り	ふくだまつり
10	5	三遊亭円生	牡丹灯籠	ぼたんどうろう
11	6	三遊亭円生	唐茄子屋政談	とうなすやせいだん
12	6	三遊亭円生	錦の袈裟	にしきのけさ
13	7	柳家小さん	にらみ返し	にらみがえし
14	7	柳家小さん	猫の災難	ねこのさいなん
15	8	金原亭馬生	笠碁	かさご
16	8	金原亭馬生	崇徳院	すとくいん
17	9	柳家小さん	禁酒番屋	きんしゅばんや
18	9	柳家小さん	頓馬使者	とんまししゃ
19	10	三遊亭円生	一文惜しみ	いちもんおしみ
20	10	三遊亭円生	大山参り	おおやままいり
21	11	古今亭志ん朝	愛宕山	あたごやま
22	11	古今亭志ん朝	雛鏝	ひなつば
23	12	三遊亭円生	紺屋高尾	こんやたかお
24	13	桂 三木助	ざこ八	ざこはち
25	13	桂 三木助	芝浜	しばはま
26	14	古今亭志ん朝	鮑のし	あわびのし
27	14	古今亭志ん朝	火炎太鼓	かえんだいこ
28	15	金原亭馬生	佐の山	さのやま
29	15	古今亭志ん生	粗忽長屋	そこつながや
30	16	古今亭志ん生	火炎太鼓	かえんだいこ
31	16	古今亭志ん生	黄金餅	こがねもち
32	17	古今亭志ん生	祇園祭り	ぎおんまつり
33	17	古今亭志ん生	品川心中	しながわしんじゅう
34	18	金原亭馬生	花見の仇討	はなみのあだうち
35	18	古今亭志ん朝	抜け雀	ぬけすずめ
36	19	三遊亭円生	山崎屋	やまざきや
37	20	三遊亭可楽	富久	とみきゆう
38	20	三笑亭可楽	らくだ	らくだ
39	21	古今亭志ん生	あくび指南	あくびしなん
40	21	古今亭志ん生	大津絵	おおつえ
41	21	古今亭志ん生	替わり名	かわりめ
42	21	古今亭志ん生	羽衣の松	はごろものまつ
43	22	古今亭志ん生	お化け長屋	おばけながや
44	22	三遊亭金馬	お化け長屋	おばけながや
45	23	古今亭志ん生	大工調べ	だいくしらべ
46	24	桂 文楽	よかちよろ	よかちよろ
47	24	三笑亭可楽	芝浜	しばはま
48	25	金原亭馬之助	一時他人	ひとときたにん
49	25	三遊亭金馬	居酒屋	いざかや
50	26	桂 文楽	愛宕山	あたごやま
51	26	三遊亭金馬	高田馬場	たかだのばば
52	27	柳家小さん	粗忽の使者	そこつのししゃ
53	27	柳家小さん	試し酒	ためしざけ
54	28	三遊亭円生	佐々木政談	ささきせいだん
55	29	桂 三木助	崇徳院	すとくいん
56	29	春風亭柳朝	井戸の茶碗	いどのちゃわん

57	30	古今亭志ん生	子別れ	こわかれ
58	30	三遊亭円楽	子別れ	こわかれ
59	31	古今亭志ん生	お直し	おなおし
60	31	三遊亭円生	花見の仇討ち	はなみのあだうち
61	32	桂 三木助	猫ただ	ねこただ
62	32	春風亭柳橋	長屋の花見	ながやのはなみ
63	33	柳家小三治	夏どろ	なつどろ
64	33	柳家小三治	宿屋の富	やどやのとみ
65	34	三遊亭円生	居残り左兵二	いのこりさへいじ
66	35	金原亭馬生	天狗裁き	てんぐさばき
67	35	三遊亭金馬	藪入り	やぶいり
68	36	桂 文楽	馬の巢	うまのす
69	36	金原亭馬之助	豆屋	まめや
70	37	古今亭志ん朝	刀屋	かたなや
71	37	三遊亭円歌	壺	つぼ
72	38	三遊亭円生	深見真五郎	ふかみしんごろう
73	39	桂 小分枝	はてなの茶碗	はてなのちゃわん
74	39	桂 文朝	こんにやく問答	こんにやくもんどう
75	40	桂 小文治	七度狐	ひちどぎつね
76	40	春風亭柳橋	大山参り	おおやままいり
77	41	桂 春団治	くしゃみ講釈	くしゃみこうしゃく
78	41	柳家小三治	千早ふる	ちはやふる
79	42	三遊亭円生	包丁	ほうちょう
80	43	春風亭柳橋	天災	てんさい
81	43	林屋彦六	煙草の火	たばこのひ
82	44	金原亭馬生	世は情け浮名の横櫛	よわなさけうきな
83	44	三遊亭円生	鯨沢	かじかさわ
84	45	古今亭志ん朝	井戸の茶碗	いどのちゃわん
85	45	三遊亭可楽	味噌蔵	みそぐら
86	46	金原亭馬之助	かえる茶番	かえるちゃばん
87	46	林屋彦六	火事息子	かじむすこ
88	47	三遊亭円生	小間物屋政談	こまものやせいだん
89	47	三遊亭円生	淀五郎	よどごろう
90	48	金原亭馬生	たが屋	たがや
91	48	三遊亭円生	一人酒盛り	ひとりさかもり
92	49	金原亭馬生	紀州	きしゅう
93	49	金原亭馬生	目黒の秋刀魚	めぐろのさんま
94	49	古今亭志ん生	三軒長屋	さんげんながや
95	50	桂 三木助	秋刀魚火事	さんまかじ
96	50	古今亭志ん朝	酢豆腐	すどうふ
97	51	柳家小さん	お神酒徳利	おみきどっくり
98	52	桂 枝雀	くやみ	くやみ
99	52	柳家小さん	長屋の花見	ながやのはなみ
100	53	桂 枝雀	宿替え	やどかえ
101	53	柳家小三治	百川	ももかわ
102	54	三遊亭円遊	掘の内	ほりのうち
103	54	三遊亭可楽	落語三題	らくごさんだい
104	55	三遊亭金馬	金明竹	きんめいちく
105	55	三遊亭金馬	くしゃみ講釈	くしゃみこうしゃく
106	56	金原亭馬生	二番煎じ	にばんせんじ
107	56	三遊亭円生	叱言幸兵衛	こごところべい
108	57	三遊亭円歌	社長の電話	しゃちょうのでんわ
109	57	柳家小三治	癩癩	かんしゃく
110	58	古今亭今助	妻の酒	つまのさけ
111	58	古今亭今助	表札	ひょうさつ
112	59	古今亭今助	ラーメン屋	らーめんや
113	59	柳亭痴楽	ラブレター	らぶれたー
114	60	桂 米朝	けんげしゃ茶屋	けんげしゃじゃや
115	60	桂 米朝	骨つり	ほねつ

116	61	柳家小さん	宿屋の富	やどやのとみ
117	62	古今亭志ん生	巖流島	がんだりゅうじま
118	62	春風亭柳好	立ち切り	たちきり
119	63	桂 小南	雛鏝	ひなつば
120	63	桂 小南	三十石	さんじゅっこく
121	64	古今亭志ん生	あなぐり三次	あなぐりさんじ
122	65	金原亭馬生	百年目	ひやくねんめ
123	66	桂 三木助	へっつい幽霊	へっついゆうれい
124	66	三遊亭金馬	お化け長屋	おばけながや
125	67	桂 文治	三年目	さんねんめ
126	67	桂 文治	好きと怖い	すきとこわい
127	68	三益屋小勝	二人酒	ふたりざけ
128	68	三益屋小勝	命	いのち
129	69	三遊亭金馬	雑俳	ざっばい
130	69	三遊亭金馬	湯屋番	ゆやばん
131	70	林屋彦六	ふたつめん	ふたつめん
132	70	林屋彦六	ぞろぞろ	ぞろぞろ
133	71	春風亭柳橋	子別れ	こわかれ
134	72	古今亭志ん生	強情灸	ごうじょうきゅう
135	72	古今亭志ん生	月屋幸兵衛	つきやこうべい
136	73	古今亭志ん生	淀五郎	よどごろう
137	73	三遊亭円生	質屋蔵	しちやぐら
138	74	古今亭志ん生	抜け雀	ぬけすずめ
139	74	古今亭志ん生	浜野典行	はまののりゆき
140	75	三遊亭円生	芝居風呂	しばいぶろ
141	75	三遊亭円生	蕎麦の殿様	そばのとのさま
142	76	円生、正蔵	真景累ヶ淵 (りレー落語)	しんけいかさねがふち
143	77	古今亭志ん生	姫語り	ひめかたり
144	77	古今亭志ん生	名人 朝次	めいじんちょうじ
145	78	招福亭松鶴	馬の田楽	うまのでんがく
146	78	招福亭松鶴	欲のくまたか	よくのくまたか
147	79	古今亭志ん生	(本案物) 名人朝次	めいじんちょうじ
148	80	桂 文楽	ほしの屋	ほしのや
149	80	桂 文治	今戸焼	いまだやき
150	81	三遊亭円生	火事息子	かじむすこ
151	81	三遊亭円生	鼠穴	ねずみあな
152	82	金原亭馬生	お初徳兵衛	おはつとくべい
153	82	古今亭志ん生	水屋の富	みずやのとみ
154	83	桂 文楽	あなどろ	あなどろ
155	83	古今亭志ん生	宿屋の富	やどやのとみ
156	84	古今亭志ん生	天狗裁き	てんぐさばき
157	85	三遊亭円生	八五郎出世	はちごろうしゅっせ
158	85	春風亭柳橋	二番煎じ	にばんせんじ
159	86	橘屋円蔵	安産	あんざん
160	86	三遊亭金馬	一目あがり	いちもくあがり
161	86	古今亭志ん生	鶴亀	つるかめ
162	87	桂 三木助	大工調べ	だいくしらべ
163	87	古今亭志ん生	こまちょう	こまちょう
164	88	古今亭志ん生	鰻沢	かじかざわ
165	88	古今亭志ん生	蜆売り	しじみうり
166	88	古今亭志ん生	素人相撲	しろうとずもう
167	89	桂 小文治	船場の娘	せんばのきつね
168	89	三遊亭可楽	二番煎じ	にばんせんじ
169	90	三遊亭円生	浮世風呂	うきよぶろ
170	90	三遊亭金馬	節分	せつぶん
171	91	三遊亭円生	中村仲蔵	なかむらなかぞう
172	92	古今亭志ん生	お若居之助	おわかいのすけ
173	92	三遊亭円生	無精床	ぶしょうどこ
174	93	古今亭志ん生	そうみんの滝	そうみんのたき

175	93	古今亭志ん生	松山鏡	まつやまかがみ
176	94	桂 文楽	厄払い	やくばらい
177	94	古今亭志ん生	姫語り	ひめかたり
178	95	金原亭馬生	大阪屋可長	おおさかやかちょう
179	95	桂 三木助	樟脳玉	しょうのうだま
180	96	三遊亭円生	お節徳三郎	おせつとくさぶろう
181	96	三遊亭円生	紀州	きしゅう
182	97	古今亭志ん生	佃祭り	つくだまつり
183	97	古今亭志ん生	牡丹灯籠	ぼたんどろう
184	98	古今亭志ん生	柳田角之進	やなぎだかくのしん
185	99	三遊亭円生	てんしき	てんしき
186	99	三遊亭円生	遠山政談	とうやませいだん
187	100	金原亭馬之助	茶膳	ちゃぜん
188	100	桂 文楽	酢豆腐	すどうふ
189	101	古今亭志ん生	大山参り	おおやままいり
190	101	古今亭志ん生	締込み	しめこみ
191	102	金原亭馬生	鮑のし	あわびのし
192	102	古今亭志ん生	三味線栗毛	しゃみせんくりげ
193	103	春風亭柳橋	大山参り	おおやままいり
194	103	春風亭柳橋	たがや	たがや
195	104	古今亭志ん生	おさんの森	おさんのもり
196	104	古今亭志ん生	金明竹	きんめいちく
197	105	三遊亭円生	四段目	よだんめ
198	105	春風亭柳朝	付き馬	つきうま
199	106	三遊亭円生	代脈	だいみゃく
200	106	三遊亭円生	おおの松	おおのまつ
201	107	三遊亭円生	白波看板	しらなみかんぼん
202	108	金原亭馬生	抜けすずめ	ぬけすずめ
203	108	林屋彦六	どくろやなぎ	どくろやなぎ
204	109	三遊亭円生	真景累ヶ淵	しんけいかさねがふち
205	110	三遊亭円生	真景累ヶ淵	しんけいかさねがふち
206	110	三遊亭円生	牡丹灯籠	ぼたんどろう
207	111	招副亭松鶴	こうずの宿	こうずのやど
208	111	三遊亭円生	九段目	くだんめ
209	112	古今亭志ん生	文違い	ふみちがい
210	112	三遊亭円生	しの字嫌い	しのじぎらい
211	113	古今亭志ん生	目か馬	めかうま
212	113	三遊亭金馬	星の屋	ほしのや
213	114	三遊亭金馬	お見立て	おみたて
214	114	古今亭志ん生	出囃子	でばやし
215	114	古今亭志ん生	千早ふる	ちはやふる
216	115	古今亭志ん生	五銭の遊び	ごせんのあそび
217	115	古今亭志ん生	富久	とみきゅう
218	116	三遊亭金馬	辰巳の辻占	たつみのつじうら
219	116	金原亭馬之助	とんちき	とんちき
220	117	金原亭馬生	八五郎出世	はちごろうしゅっせ
221	117	古今亭今助	しも出たぬき	しもでたぬき
222	118	金原亭馬之助	そこつの使者	そこつのししや
223	118	金原亭馬之助	てんしき	てんしき
224	119	古今亭志ん生	せんきの虫	せんきのむし
225	119	古今亭志ん生	厩火事	うまやかじ
226	120	三遊亭円生	おさん茂兵衛	おさんもへい
227	120	柳家小さん	御慶	ぎょけい
228	121	春風亭柳橋	蕎麦や	そばや
229	121	金原亭馬之助	そば生	そばせい
230	122	古今亭志ん生	電とん	でんとん
231	122	古今亭志ん生	厩火事	うまやかじ
232	122	古今亭志ん生	安中争議	あんなかそうぎ
233	123	金原亭馬之助	しの字きらい	しのじぎらい

234	123	金原亭馬之助	芋俵	いもだわら
235	124	古今亭志ん生	茶巾	ちゃきん
236	124	三遊亭円生	後家殺し	ごけごろし
237	125	春風亭柳橋	小言幸兵衛	こごとこうべい
238	125	三遊亭金馬	浮世床	うきよどこ
239	126	林屋正蔵	近江八景	おおみはっけい
240	127	三遊亭圓窓	明烏	あけがらす
241	128	古今亭志ん生	子別れ (通し)	こわかれ
242	129	桂 枝雀	地獄八景亡者戯	じごくはっけいもうじゃのたわむれ
243	130	桂 枝雀	饅頭怖い	まんじゅうこわい
244	130	桂 枝雀	ちしゃ医者	ちしゃいしゃ
245	131	古今亭志ん生	幾代餅	いくよもち
246	131	金原亭馬生	千両みかん	せんりょうみかん